

令和5年5月26日
鉄道局総務課企画室
鉄道局技術企画課

「鉄道分野のカーボンニュートラルが目指すべき姿」 を公表します

～鉄道分野におけるカーボンニュートラル加速化検討会 最終とりまとめ～

2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に向けて、鉄道分野におけるCO₂排出削減の取組をこれまで以上に加速化させるため、令和4年3月に有識者・関係者からなる「鉄道分野におけるカーボンニュートラル加速化検討会」を立ち上げ、検討を実施してきました。この度、目標値の設定やロードマップを含む「鉄道分野のカーボンニュートラルが目指すべき姿」をとりまとめましたので公表します。

【「鉄道分野のカーボンニュートラルが目指すべき姿」のポイント】

- 我が国の鉄道は、世界トップクラスの輸送量を誇り、他の輸送機関と比較して単位輸送当たりのCO₂排出量が低い環境のトップランナー。また、線路や駅など豊富なアセットを有する。
- こうした鉄道の特徴を十分に生かして、
 - ① 鉄道事業そのものの脱炭素化（**鉄道の脱炭素**）
 - ② 鉄道アセットを活用した脱炭素化（**鉄道による脱炭素**）
 - ③ 環境優位性のある鉄道利用を通じた脱炭素化（**鉄道が支える脱炭素**）の3つの柱に沿った取組を推進することにより、2050年に鉄道自体のカーボンニュートラルを実現するとともに、基幹的かつ身近な交通インフラとしてカーボンニュートラル社会を支える。
- その実現に向け、2030年代に鉄道分野のCO₂排出量（2013年度1,177万トン）の実質46%に相当する量（約540万トン）を削減することを目指す。

※3つの柱それぞれの取組内容やロードマップなど、詳細については別紙をご覧ください。

■掲載ページ：

https://www.mlit.go.jp/tetudo/tetudo_fr1_000071.html

<問合せ先>

国土交通省鉄道局

総務課企画室

渡邊・細萱・服部

(内線 40623、40176)

技術企画課

福・打越

(内線 40744、40754)

電話：03-5253-8111

直通：03-5253-8542